

竹の台の歴史

西神ニュータウンで第1号の入居が始まったのは、1982年(昭和57年)の糺台・狩場台地区の370戸が最初で、竹の台地区の入居は、それから遅れること3年、1985年(昭和60年)から開始されました。

下表のあるように、昭和60年以降、順次公共機関・施設が整備され街の姿が整い、平成の初期には自治会等が結成され始めました。

地域活動がさかんに行われるようになったのもこの頃からです。

特に、阪神・淡路大震災以降、住民同士のつながりの重要性が痛感されるようになり、自治会活動に加えて、防災や福祉など社会的な活動テーマを持った地域コミュニティ団体が順次設立されていきます。

年 度	西神ニュータウン・竹の台地区の出来事	同じ年の日本・世界の出来事
昭和47年5月	西神ニュータウンの本格造成始まる	連合赤軍浅間山荘事件
昭和57年3月	糺台・狩場台地区への入居始まる	日航機羽田沖墜落事故
昭和57年8月	垂水区から西神ニュータウンが分区し西区が発足	
昭和59年4月	神戸高塚高校、滝川第二高校開校	グリコ・森永事件
昭和60年4月	竹の台地区への入居始まる	豊田商事事件
昭和60年6月	市営地下鉄が学園都市まで開通	阪神タイガース優勝
昭和61年3月	西神中央線(山麓バイパス)開通	チェルノブイリ原発事故
昭和61年6月	西神工業団地完成	
昭和62年3月	市営地下鉄全線開通	国鉄分割・民営化
昭和63年4月	竹の台小学校開校	青函トンネル開業
平成元年10月(1985年)	竹の台派出所、たけのプラザオープン	昭和天皇崩御、ベルリンの壁崩壊
平成元年～	自治会等の結成が始まる	
平成2年4月	西神中学校開校、竹の台保育園開園	
平成3年2月	神戸西警察署が現在の場所に移転	東西ドイツ統一
平成4年3月	神戸西消防署が現在の場所に移転	湾岸戦争勃発
平成4年3月	ふれあいのまちづくり協議会結成	
平成6年8月	西神戸医療センター開院	
平成7年1月	阪神・淡路大震災	関西国際空港開港
平成9年5月	「こども110番の家」	地下鉄サリン事件
平成10年7月	防災福祉コミュニティ設立	神戸児童殺傷事件
平成14年8月	グリーンコリドール街開き	
平成15年10月	ふれあいまつり開催	イラク戦争勃発
平成17年12月	子ども見守り活動開始	JR 福知山線事故
平成18年3月	竹の台総合新聞発行、竹の台HP運用開始	新潟県中越沖地震
平成19年11月	竹の台子ども安全基金創設	
平成20年8月	竹の台円卓会議始まる	洞爺湖サミット
平成21年4月	ふれまち協が規約大改正	新型インフルエンザ
平成22年4月(2010年)	たけのプラザ集会所が地域移管、たけのパークとして運営始まる。	
平成22年11月	ふれあいのまちづくり協議会を改組し住民自治組織「竹の台地域委員会」を設立	

平成 22 年 12 月	子ども見守り活動日数 1000 日到達(文科大臣表彰受ける)	
平成 24 年	まちづくりワークショップ (7 回/年) 実施	
平成 25 年 4 月	桑ノ木幼稚園給食事業受託	
平成 25 年 9 月 30 日	NPO 法人「たけのコム」設立 竹の台地域委員会の事業の実行部門として位置付ける	
平成 26 年 4 月	NPO 法人「たけのコム」にたけのパークの運営を移管	